

第2期高島市まちづくり推進会議委員から、

市民・行政に向けた**提案・検討内容！**

1. 活動テーマ「地域が支える子どもが地域を支える高島市

～あなたにもできる地域とこどものつながりを考えよう～

子どもとコミュニティの関係からどんなまちづくりが期待されているのか。子どもの頃から地域と関り、地域とつながる経験をすることが、地域を思う心を育むのではないかと考え、調査、検討した。

活動方法

- ・市の取り組みを知るため、「高島市子育て応援ぶっく」を検証
- ・新旭北小学校区の子育て世代（550人）を対象にアンケート調査を実施

検討結果

- ① 子どもの成長には地域との関わりが大切であると子育て世代は考えているが、就労形態の変化などにより、ご近所同士のコミュニケーションが希薄化し、子どもたちが地域とかかわる機会が少なくなっているため、預け先が親のみである子育て世帯が約半数であることが明らかになった。また、市の各種支援制度の中で、預かりサービスを利用する世帯は5%、家事支援制度を知らない人が約13%であること等が明らかになった。

「ちょっとお願い」と言える地域づくり

▽市民へ提案

- ・子育て世代を対象にした区・自治会活動で同世代の横のつながりと世代を越えた縦のつながりを広げる
- ・女性をはじめ地域の多様な人が関わる自治会活動の実施
- ・多様な世代の人がお互いに意見を出しやすい会議の雰囲気づくり

▼行政へ提案

- ・子育て応援ぶっくを受け取る機会のない移住者等のような子育てに関する制度を知らない人を減らすために、高島市子育て応援ぶっくの周知の徹底を図る。子どもの健診時やこども園等に説明や声かけを実施してはどうか。

～検討する所属～

【担当課】子育て支援課、各園

【関係課】健康推進課



- ② 「地域に対して期待していること」や「子育て世帯の方がどのような支援を行えるか、または行っているか」という質問から、実施している人は少ないが声かけや見守り、相談などを期待し、実施できると考えていることが示され、子どもを取り巻く地域環境の改善が期待できた。

子育てや子どものことを考え、話し合える地域に

▽市民へ提案

- ・ 子どもへの声かけを区、自治会で取り組む。お帰りチャイムが鳴ったら声をかける
- ・ 地域で安心して遊ばせられる環境について意見を集め、地域で取り組む
- ・ 区、自治会で子育て中の人との対話の場を持ち、子どもたちへの関心を広げる



▼行政へ提案

- ・ 小学校区ごとの子育て支援活動組織づくりを行うことで相談し合える機会をつくる。
また、地域学校協働本部と連携し、子育て支援活動団体の支援強化を図る。

～検討する所属～

【担当課】子育て支援課

【関係課】学校教育課、社会教育課

- ・ 個人での取り組みが難しい社会事情の中で、子育て世代との協働による安心して遊ばすことのできる環境づくりを実施するには、自治会役員の定着化、地域活動の大切さを自治会員が自覚することにより地域自治会の体制強化を図る必要がある。
また、そのための自治会員のための実りある研修の場を設ける。

～検討する所属～

【担当課】市民協働課、各支所

【関係課】学校教育課、子育て支援課

2. 活動テーマ「高島市で働く若い世代は何を求めているのか」

平成27年度に実施した高校生対象のアンケート結果によると、市内高校生の約半数が市外に出たいと考えていることがわかった。市内で働きたいと思える環境と、若者はどのような働き方や暮らしを求めているのかを調査、検討した。

活動方法

グループメンバーの20・30歳代の知人を対象にアンケート調査を実施。

検討結果

- ① 質問項目の中から、若者が重視する順は、年収、就業時間、福利厚生、子育て、アウトドア（高島らしい趣味）であり、良い高島の環境をPRすることはあまり効果がないことや3人以上の子供がいるとマイナス評価をしていることが明らかになった。

結婚支援等の体制や子育て支援制度を充実

▽市民・企業へ提案

- ・若い時に高めの給与設定、結婚支援制度を充実させて結婚を促し、結婚後の福利厚生面を充実、給与等のコストを抑えることにより、市内就職者の増加を促す。

▼行政へ提案

- ・子ども2人目までの子育て制度を充実
- ・3人以上の場合の手厚い子育て支援制度の周知の徹底

～検討する所属～

【担当課】

子育て支援課

- ② 流出を防ぐのではなく、39歳以下の若者に帰ってきてもらうことが大切。大学生相手の就職フェアや高校生のキャリア教育ではなく、子育て世代が高島市へ帰ってきたいと思う施策を実施する必要がある。

子育て世代をターゲットとしたI・Uターン

▼行政へ提案

- ・若者が就きたい職種を調査し、就職フェアで紹介する。
- ・福利厚生を重要視する傾向にあるが、就職フェアのパンフレットには掲載されていないので事業内容およびPR欄に掲載してはどうか。

～検討する所属～

【担当課】商工振興課

【関係課】社会福祉課、農業政策課、市民協働課

3. 活動テーマ「子ども目線でつくる地域で学び育つ場」

「子ども目線」の学び育つ機会とは何かを考えるために、高島市で活動する「子ども食堂」と「冒険遊び場」を対象に、聞き取り取材を行い、方策を検討した。

活動方法

- ・「子ども食堂」と「冒険遊び場」を対象に、活動の自主性や主体性、地域とのかかわりが子どもにとってどのような場所であるか、運営者側の思いや運営上の課題などを調査した。

調査結果

子ども目線の学び育つ場とは、家族や学校以外の緩い関りやつながりが、子供にとって「そこへ行けば受け入れてもらえる安心感」や「新しい遊びや体験の機会」が得れる場であること、「助けあい、つながりあう大人の姿」が、子どもにとってモデルになっていることがわかった。

子どもたちがいきいきと体験でき、生き抜くための知恵を持てる機会のある高島市

▽市民・事業者へ提案

- ・一人でも多くの人が活動に参加をする
- ・子どもの活動に対する資金の支援や物資の提供を通じた協力が必要

▼行政へ提案

- ・活動団体の運営方法（人材募集、広報、活動の場等）を学ぶ機会づくり

～検討する所属～

【担当課】市民協働課

★検討スケジュール

市では、提出された提案内容について、10月を目途に検討結果を公表し、令和2年度には検討結果を実施できるよう検討を進めています。

日 程	内 容	期 限
6月25日（火）	令和元年度の本部員へ提案内容報告・各部持ち帰り検討	10月上旬
7月～	第2期まちづくり推進会議第8回全体会議のムービー公開	8月下旬
10月上旬	検討結果のお知らせ	－
令和2年4月～	検討結果の実施	－